



はまます いっぺかだれや つうしん

～石狩市浜益区地域おこし協力隊通信～

Vol.12

※「いっぺかだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」という意味の浜益の言葉です。

発行日：平成27年5月1日

発行：石狩市浜益区地域おこし協力隊



4月25日に、浜益移住1周年を迎えました。1年経って、浜益で声をかけてもらえる機会も増えました。カメムシも怖くなくなりました（笑）。今年度はとにかく浜益ライフをもっともっと楽しくしていきたいと思います！

カフェ・ガル 今年5月1日(金)から営業開始！



今年度、カフェ・ガルの営業開始が、例年より1ヶ月早く、5月1日からになります。ぜひ遊びに来てください。

営業日 木曜日～日曜日

営業時間 11:00～17:00

なお、ゴールデンウィーク中の営業日は下記のようになります。

5月1日(金)～5日(火) 営業

5月6日(水)・7日(木) 休業

5月8日(金)からは通常営業です



浜益黄金フェニックスは例年よりも早く3月からシーズン開始。公式戦に参加しました。3月14日に開幕、14チームが参加した「選抜少年野球岩見沢大会」では、北白石ワイルドナイン、大谷地東ドリームス、本郷ドリームスと対戦するも残念ながら予選で敗退してしまいました。

その後、交流戦として、真栄ピクトリー、三川フェニックスと対戦。対三川フェニックス戦では、途中まで2-2と互角の戦いで勝利の可能性を感じる一戦となりましたが、最後にタイムリーを打たれ、2-4で負けてしまいました。ただ、観戦していて、危なげない送球でアウトを取る姿、走者をけん制するピッチャーの姿など、これまでの練習の成果は確実に出ていたと思いました。

残念ながら、この春に転校をしてしまった児童もいて、メンバーが少し減ってしまいましたが、団員11名で勝利を目指してがんばっていきます。

引き続き、浜益のみなさんからの応援をよろしくお願いします。





ひさびさの「はまますのひと」です。第3回は、第1回でご紹介した佐藤睦さんのご紹介で、睦さんの同級生で山菜採りの名人、**白戸 忠義**（しらとただよし）さんにお話をうかがいました。

雪が解けて春に向かうこの時期は山菜の時期でもありますね。白戸さんは山菜を採るようになってもう30年以上のベテラン！いつもは、国道451号線を滝川方面に走り、御料地の先の清水峠付近で山菜採りをされているそうです。ここは山菜採りのメッカということですが、そのなかでも名人・白戸さんがご自身で道を作った「秘密の場所」があるそう。ここで採れる笹タケノコは笹タケノコとは思えないほどの太さだそうで、とってもやわくて美味しいそうです。

白戸さんは毎年上富良野町に住む親戚の方から「タケノコを送ってくれ」と頼まれて浜益でとれたタケノコを送っているのだそう。道内の方からも美味しいと言われる浜益のタケノコは、もしかすると浜益の新たな名物になるのではないかと、白戸さんのお話をうかがいながら、そんな可能性も感じました。

今度白戸さんに「秘密の場所」でタケノコ掘りを教えていただくお約束をいただきました。楽しみです！

白戸さんの山菜採りのモットーは、「同じ場所から採りつづけないこと。根こそぎ採ってしまわないこと」。ずっと美味しい山菜を採りつづけられる環境作りには大切なことですが、最近は根こそぎ採ってってしまうような人も多いとのこと。美味しい浜益の山菜をずっと採り続けていけるように、山菜採りのマナーも伝えていけたらいいのになぁとお話されていました。例年、5月頃には札幌からの友人をタケノコ掘りに連れていかれるそうです。きっと白戸さんは山菜採りの楽しさとともに、自然とともに生き続ける極意もみんなに伝えている、そんな気がしました。



昭和17年生まれ。白戸さんと佐藤睦さんは、黄金小学校（今の浜益小学校）時代からのお友達。離れて暮らしていた時期もありましたが、再会後は以前のように仲良しで、話もとても合うのだそう。お二人を見ながら、やっぱり地元の友達っていいな、と少し静岡が懐かしくなりました。（税子）



以前ご紹介した「荘内藩陣屋研究会」に定期的に参加させてもらうことになりました。研究会の方々の活動は2年目に突入。現在は浜益村史を読みながら、それに付随するような情報を各自が持ち寄って、情報を肉付けするという作業を行っています。…とさらっと言いましたが、浜益村史の読み込みが非常に難しいです。。先日読んだのは、荘内藩が蝦夷地の警備を命じられて浜益に来るまでの流れ。この時期は江戸時代の幕末、強固な政権であった江戸幕府の勢力が衰え、一気に倒幕に向かっていった時期です。その頃に浜益に陣屋を建てた「荘内藩」ってどんな藩だったのか？ どれほどの力を持っていたのか？ 江戸幕府との関係は？ など、浜益での動きと日本史全体の動きの関係性が見えてきそうでワクワクします。

また、面白いのは、当時、荘内藩の人々が荘内藩（今の山形県）からどんな経路で浜益まで来たのかも文章を読んでいくとわかることです。もちろん、車はないし、今のような整備された道もない。どこを歩いてどのくらいの時間をかけて来たんだろう？ 研究会ではいずれ実際に歩いてみることも計画中です。

こんな素人のような感想ですが、今後勉強したことをちょっとずつ通信でお伝えしていきたいと思います。